

三同教は結成 50 年を迎えます



「あなたがいるから あったかい — 心つないで今日から明日へ —」

これが、50周年記念事業のスローガンです。

三同教は今年、結成から50年の節目を迎えるのを機に、これまでの取組をふり返り、「ともに」と「開く」を合言葉に、今後の方向性をうちだそうと考えています。今年4月から来年3月までを「三木市じんけん年」と名づけ、8月の「市民じんけんの集い」をメインデーと位置づけて、様々な催しを行います。

この企画を進めるにあたり、①記念式典・展示部会、②市民演劇部会、③スポーツ部会、④地推協事業部会の4部会を設置しました。

障がいのある人もない人もいっしょに楽しめるスポーツイベントや、市民による手作りの演劇など、より多くの市民の皆さんが参加しやすい、そして参加して良かったと思えるような企画を計画中です。この1年の取組をステップとして、継続して取り組めるものとしします。

あらためてお知らせしますので、ぜひご参加ください。

市民が創る まあるいココロ あったかメッセージ'17 ～自分もけっこうやるやん！～

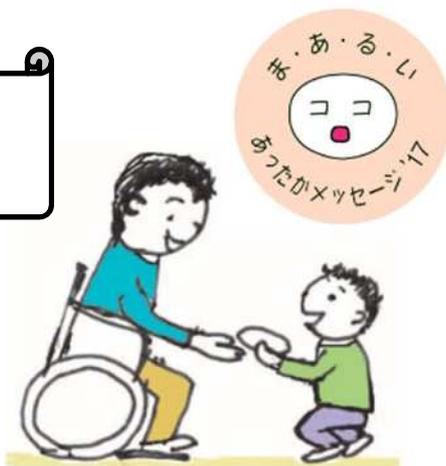
今回で6回目となりました。今年度は「自分もけっこうやるやん！」をテーマに、自分自身が人権を大事にする行動をして、自分の心があたたかくなった出来事やその時の思い、それをふり返った現在の思いなどをお寄せいただきました。小学生から成人の方まで、幅広い年代の方から4,286点もの応募をいただきました。

その中から28点を選び、イラストとともに掲載してリーフレットを作成しました。

このリーフレットが皆様の手元に届き、人と人がつながり、互いを尊重しあう心の輪がいつそう広がりますよう、心より祈っております。

3月には、これをもとに「じんけんカレンダー」を作成する予定です。

リーフレットをご希望の方は三同教事務局へお問い合わせください。



第33回三同教研究大会で熱心に協議
「ズートピア」 バリアフリー映画会に 373 人

三木市文化会館を主会場に昨年11月18日、第33回三同教研究大会を開きました。「就学前教育」「同和・人権・平和学習」「人権と共生」など8つの分科会で、取組報告や熱心な協議が行われ、これからの取組にはずみをつけるものとなりました。

特別分科会では、ディズニーアニメ「ズートピア」を「バリアフリー映画会」として上映しました。様々な障がいのある方や、乳幼児を連れてきた方、小学生など、373名の参加があり、非常に満足度の高い企画となりました。この企画には、三同教スリーサポーターズ「ステップ」「ジャンプ」会員を中心に、人権教育指導員の有志もスタッフとして加わり、チラシの作成や当日の入場整理にあたっていただきました。託児ボランティアカンガルーや関西音声サポートの協力も得て、開催することができました。皆様に心より感謝申し上げます。

第33回 三同教研究大会 特別分科会
えいが かい
バリアフリー映画会
ディズニーアニメ「ズートピア」
日本語吹き替え版 & 日本語字幕スーパーあり♪
映画初体験のちびっこも集まれ～！大スクリーンで気分は映画館デビュー♡
ライブ音声サポートあり♪
耳の不自由な方にもお楽しみいただけます！
託児あり♪
三木託児ボランティアカンガルーさんによる託児です。1歳以上、先着10名。11/6(月)までにお申込みを！
お問合せ・お申込み先
三木市立総合隣保館
TEL. 0794-82-8388
FAX. 0794-82-8658
Disneyアニメ「ズートピア」
…どんな動物も快適な暮らしができる社会であるはずの「ズートピア」が、実は…、主人公の動物たちが差別やいじめをのりこえ、共に生きていこうとする姿が描かれたこの作品は、「みんなが尊重しあい自分らしく暮らす」ことの大切さを教えてくれます。
とき 11月18日(土) 入場無料 申込不要
午後2時35分～4時30分(開場2時15分)
ところ 三木市文化会館 小ホール
※研究大会の全体会が2時に終了した後で入場して頂きますので、開場までロビーでお待ちください。
主催 三木市人権・同和教育協議会



大勢の人に来てもらえてよかった！



字幕スーパーをつけたり、音声サポートをすることによって、目や耳が不自由な方も映画を楽しめる。そういうことが当たり前になればいいね。

スリーサポーターズ募集中！



開かれた三同教をめざし、どなたでも自分らしいスタイルで参加できるように「スリーサポーターズ制度」を設けています。「行事の案内を送ってほしい」という方も大歓迎です。ぜひお申し込みください。

☎三同教事務局(総合隣保館内 電話 82-8388)



このチラシと口コミのおかげだね。

障がいのあるなしや年齢に関わらず、みんなが一緒にいることって大事だね。



『未来志向の人権』—これからの三同教とともに

三同教は、1968（昭和43）年5月に結成され、吉川町との合併を経て、今年50周年を迎えます。この機会に三木市における今後の人権教育・啓発のあり方について、どのように進めていくかを検討しています。

その中心となることばが『未来志向の人権』です。今後、「市民に開かれた三同教」（Open：オープン）と「市民とともに創りあげる三同教」（With：ウィズ）をめざし、「(1) 参加・参画、(2) ふれあい・交流・交感、(3) 体験、(4) 気づき、(5) 創造」の観点から、様々な事業に取り組んでいきます。

人権ふれあい事業や人権フィールドワーク、スリーサポーターズ制度の創設などを通して、市民の皆さんの主体的・積極的な参加が多くなってきています。住民学習では参加体験型の学習も徐々に増え、満足度が高くなる傾向にあります。これからも創意工夫をこらし、みんなが自分らしく生き生きと暮らせる社会をめざします。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

*人権ふれあい事業とは：映画上映とあわせて映画監督や出演された方からお話をうかがったり、一緒に飲食しながら意見交流したりする人気の企画です。



「うちら富山型デイサービスやちゃ！みんなで生きる。」

こんなDVDがあります♡

このDVD（23分）は、「高齢者は高齢者の施設」「障がい者は障がい者の施設」と分けるのではなく、おじいちゃんも、おばあちゃんも、子どもも、赤ちゃんも、障がいがあってもなくても、いろんな人たちが一緒に楽しく過ごす、「富山型デイサービス」と言われる実践の記録です。

高齢者と子どもと一緒に過ごすことで芽ばえる、ステキな瞬間がたくさんあります。おじいちゃんが孫と遊ぶことで若返ったり、元気な高齢者が介護の手伝いをする事で生きがいを感じたり、核家族で育った子どもが高齢者と触れあい、障がいがある人と接することで優しい心が育ったりしています。

お互いの命や人権を大事にし【誰もが住みやすいまちづくり】をいっしょに考えることのできる作品です。このDVDは、隣保館や公民館に置いてありますので、ご活用ください。

